

三笠産業ニュース

* 11 号 报 * 11 号 回 元 付

重機にセツト

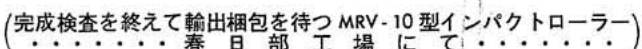
昭和十四年六月二十八日
通商産業大臣 大平 云々

通産省
と貿易振
興推進の
部主権の
自由貿易
一〇年

記念第七回貿易記念日の式典が、六月二十八日午前十時から、東京・日比谷公会堂で皇太子殿下、同妃殿下ご臨席のもとに開かれた。主催者の足立代表理事と大平通産相のあいさつに続いて皇太子殿下から「貿易振興は経済の発展と国民生活の向上を図るうえで、きわめて重要であるばかりでなく、国家間の経済交流を深め世界平和と人類の繁栄に大きく寄与するものである。今や経済の国際化にもなつて貿易をめぐる環境がきびしさを加えているお

りから、こんごともいつそ貿易振興に努力してほしい」とのお言葉があった。このあと保利官房長官、大久保衆議院商工委員長、安井同副議長がそれぞれ祝辞をのべ、続いて四十四年度の輸出貢献企業として、輸出振興に寄与した商社、メーカー等の表彰式が行なわれ、内閣総理大臣賞並に通産大臣賞が授与された。この式典に出席して、今

日のようにめざましい経済発展をとげたわが国を思うとき、国際経済下に於けるわが社の任務のますます重くなつてきているという事実を強く感じさせられた。意味に於いて今後ますます積極的に三等製品の海外進出を推進させていかなければならないと思つた。



大量契約成る

今回某国からT商社を通じてMRVⅡ10型インパクトローラー三十台の受注契約に成功した。

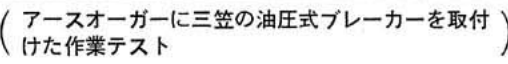
昨年サンブル機として数十台を輸出し、現地にテストにテストを重ね、更に数カ国から輸入された各種ローラーと比較検討された結果、三笠の技術の優秀性が認められ、遂に本契約の運びとなつて先頭船積を完了したものである。

従来同地域に対しては、日本の建設機械も相当量輸出されてはいるが、我が社製品の様な小型特殊建設機械となると諸外国の製品が圧倒的に多く出廻っている。

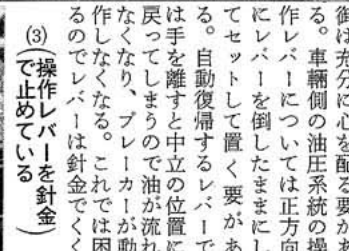
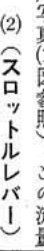
— 高野記 —

—高野記—

重機への取付けについて



土を掘る仕事と一口に言っても、日本の地質は古代からの火山活動等に依り、大変に複雑な組成である。表土を掘削する、または穴を掘る作業のどれ一つをとってみても、日本全国北の果から南の果まででは千差万別で全く同一条件の場所と言うことはあり得ない。地面の中にはどのような障害物が隠されているか判らない、こればかりは掘って見なければ判らないのが実状である。と言う話を耳にする。 穴掘り作業中に岩にぶつかった場合はブレイカーで破碎する、また表面がコンクリート舗装されている場合にはカッターで切断し、	ブレイカーでコンクリートを割って削り取る作業が穴掘りまたは溝掘り作業に先立つて行なわれなければならない。この場合ブレイカーを動かすためにはエアーコンプレッサが無ければ作業出来ないのが今までの状態であった。コンプレッサを動かすための作業経費の増加は止むを得ないとしても、コンプレッサとブレイカーから発生する騒音は耳を聳えんばかりの激しいものである。またその都度エアーコンプレッサを現場まで運搬する手間も馬鹿にならぬ問題である。そこで作業能率向上を併せて、穴掘機、掘削機等を用いる。油圧回路から動力を取出し、これにMOB-32型油圧式コンクリートブレイカーを連結して作業することを試みた訳である。以下取付方法について詳述し現在までの実験段階に於いて生じた問題点について考えてみたい。各車輛に取付けることは可能であるが、一例としてA社ABE-44型エースオーガに取付けたものについて述べる、この車輛の場合は独立したPTOが無いので後方のクローズンバー付近にある拔仕装置を駆動する油圧取出口に接続することとした。この回路はレバーの操作で油の流れが正逆何れ方向へも変えられるようになってい
--	--



立てても良い樹なものを、接続している舗装面にも亀裂を生じさせないため、きれいな仕上りと作業を容易にさせるためにもカッターで目地を入れることは必要な段取りと思う。A・B・C・Dの取出しに予め取付け置いていた流量制御弁と逆止弁とにブレーカーホースの端部を接続し、直ちにコンクリート舗装の破碎作業をはじめた。約5分間位は作動油の温度が上らず流量が不安定だったためか打撃にむらがあったが、後半順調な作業振りを示した。現場は交通が幅狭している場所だったがさして障害にもならず、騒音の発生も少ないことも認識されたようだった。今後の研究に依っては新たな用途も期待されよう。

32型ブレーカーのオイルモーターは一定の方向へしか回らない構造となつてゐるので、若しモレー操作を誤つて低圧側ホースへ高圧の作動油が送られると困るので、取出口と低圧側ホースの中間にインラインチェックバルブ（逆止弁）をエックパルプ（写真1）参りに入れて接続した（写真1）参る。MOB 32型ブレー

(1) 向て右側 制御弁
左側 逆止弁

とは言うまでもない。以上で取出口とブレーカーのホースの接続は完了。エンジンを起こさせてレバーを正方向に操作して油圧回路に油を流し、接手部の油洩れの有無を調べる。前述の如く車輛に付いているオイルポンプの吐出量はかなり多いのでエンジン回転数は低く抑えて運転することが肝要で、やたらに回転を上げるところで流量制御弁で絞る。取付位置に依つては、また、流量制御弁、逆止弁は何れ

会期 自八月一日至八月十日
主催 日本建設機械化協会
場所 東京都晴海埠頭前広場

昭和四十四年度の東京建設された建設業者、商社、設備機械展示会が日本建設機械化協会創立二十周年を記念して建設省、通商産業省、その他諸官庁の後援の下に八月一日より十日までの前記の場所に於て華々しく挙行された。会場面積は約

建設機械の発達は工事の合理化を求めて開発される

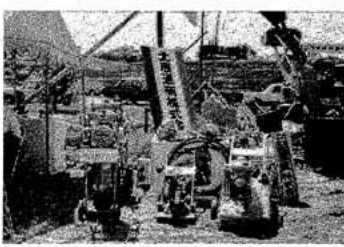


上面のきれいな事とが相まってブルーカラーとこの実演には黒山の人垣がところらあった。又安心してご使用願えるように、六月月保証書交付の、MTRⅡ80型ランマⅠや、前記2S型コンパクトの強力型として、ご好評のMVCSSⅢA型コンバクタⅠ、輥圧力抜群のMTRⅡ10型インパクトローラー、更には、ローラーの決定版ともいわれるMRVのⅡ12型振動ローラー等の各種輥圧機を始めとし、お開

會期 自七月二十五日至七月二十八日
會場 郡山市開成山公園
主催 日本工業經濟新聞社
協力店 北辰通商株式會社

広大な敷地に、まばゆいばかりの緑と澄んだ堀割の水、そして野球場、プール、テニス場等近代的諸設備の完備した当開成山公園は、地元郡山市民の憩いの場でもある。盛夏の陽射

るお客様方も各々、思い入りの目的で来られていた。比較的閑散とした毎日であったが、それでも足を運ばれるお客様は皆熱心な方々ばかりで、ローカル展示会独特の真剣な商談が各所



と遊んで木霊に惚れた人々、
 期を待たず、早く開かれた
 機もおられ、発売を前に、

に見受けられた。

我社製品に関する反響は
 2S型パイプロコンパクタ
 ーと8型ハンドカッターに
 集っており、又あいにく出
 品出来なかったのだが油圧
 式ブレイカーに対する質問
 が非常に多かった。三笠ニ
 ュースや配布されたカタロ
 グ等でその存在は充分知ら
 れており、来る仙台展には
 は是非見に行きたいとのお客
 さまも多かった。

会期 自七月十一日至七月十四日
会場 宇都宮市営スポーツセンター
主催 日本工業経済新聞社
協力店 中道機械産業(株)宇都宮営業所

七月二十五日午前十時、福島県知事、郡山市長等を迎えた開会式を皮切りに、連日うだる様な暑さと、無風状態の息苦しさの中で進められた。出品品目も多種多様な工作機械、測量器、建具類から石材、ガラス器具、家庭用品に至るまで展示されており、従つて来場され

た。他にもインパクトローラーや3A型バンプコンパクターの引き合いも多くなまづは意義ある打ち上げと相成ったのは幸いであつた。文末ながらご協力を賜つた北辰通商佛殿に厚くお礼を申し上げると共に、今後益々のご発展をお祈りしてやみません。

—今野記—

会期 自七月十三日、至七月十五日
主催 ㈱トザキ
場所 茨城県鹿島郡神栖村息栖
㈱トザキ 鹿島営業所

それぞれ引き合いがあり好評であった。

梅雨明け直前のどんよりとした空模様の毎日であったが幸い会期中に降雨にあうこともなく盛況のうちに閉幕出来たのは何よりであった。

幅広い出品機種と連日ひきまきらさぬ来客で息つく間もない程の活況で嬉しい悲鳴の連続であったが、お客様各位の熱心なご質問と、それに対処される中道機械産業の皆様の熱意に引つ張られながら、実の多いものになったことはありがたい事であった。

未筆ながら中道機械産業宇都宮営業所の森田所長以下営業員の方々のご協力に深く感謝の意を表すると共に、遠路ご多忙中、わざわざご来場賜り、お力添えいただきました来客各位に厚くお礼を申し上げます。

佐潟記

(7月28日 東中野 日本閣にて)

京谷社長の誕生日祝賀会は去る七月二十八日国電東中野駅前、ウエディングパレス「日本閣」に於て催された。当日本閣は結婚式場としてシーズンには一日二〇〇組もの結婚式が可能との事、誠に、目出たいのである。

日、本社社員、春日部の会会の加藤会



長、田口幹事長も招待され、
先ず祝賀会に先立ち四十三年度營業成績の高かった各課に対し社長より表彰の言葉を頂戴した。
そして四十三年度東販一課に優秀販売課として昨午より持ち回りの大花瓶が、本係長に贈られ、課員一同
京谷社長はこの謝辞の中で、この会は単に社長の誕生日という事でなく、現在の三笠産業が過去を通じて苦難の道を歩んで来た。そして、一步一步と進んで来たこの歴史の一つの道しるべとして皆さんと共にこの日を祝いたい。
このような社長の日頃変わらぬ品を披露し合うに及んで珍
品、逸品に爆笑が湧き、果
ては、飲んで酔い、唱つ
ては笑い、夜の更けるのも
忘れての一夜であった。
最後に長谷川春日部工場
長による手締め春日終宴
し、お誕生日おめでとうの
合唱で社長を送り出し、お
ひらきとした。―長畑報―

（大物のイナダを釣り上げて喜こぶ長畑君）

八月二十二日京谷社長招待の釣り大会が、浜金谷の海の家を利用して、浜金谷の人々。京谷社長以下総勢十四人。前日夕刻「海の家」に集合し、一同明日の大漁を

ところかどいうわけな
か、松下課長の「ベテラン組」は岸の近くでウルメイ
ワシ、アジ、カマス等を釣
る胴突釣り、仕掛けの四本
の釣には魚が四匹づつ、か



7号台風の襲来で、八

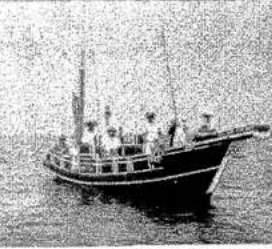
流会となつてしまつたので、京谷社長が十二日に箱根を引揚げるその朝の一番く、ホテル下、竜宮下、箱根園下など、あちこちと

同地は風景園

がみながっていた。
出品機種も木工機械、建設機械と幅が広く、見学者も大工さんや左官屋さんから大手ユーズーと広範囲に渡っていた。
展示会場における、実演場も特別に広く確保して戴いたので、存分に活用して多数ユーズーの方に見ていただくことが出来た。
特に80型タンピングラン

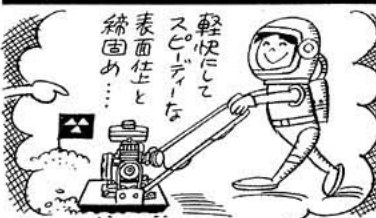


折って楽しい夕食の一時を
過した。折から台風九号が
上陸。東京地方に



沖に出て、イオダ等の大物釣りで三十匹近くもあがれる大漁、しかも中には六十センチ以上もある超大物も混じって、「ベテラン組」をあっといわせた。こうして逆な結果を生んでしまったが、午前十一時には陸にあがり、お互いの釣果を自慢たばかりの魚を料理し、イオダとイワシの刺身、サバ根を引揚げるその朝の一番く、ホテル下、竜宮下、箱根園下など、あちこちと曹がまわって来たが、さ

私めめつきり
涙まって...
今宵は中秋の
夕月とて...
これど



北関東の大都宇都宮は、新しきもの、古きものの、調和した美しい町である。天下の名勝日光や、湯の街鬼怒川、川治の表玄関として、又東北地方への道路、鉄路の要として常に発展を続けて来た都市である。

宇都宮駅へおり立ち、目貫通りを過ぎたところに左へ少し折れたところにて会場にあてられた市営スポーツセンターがある。屋内体育館には建具類や建築金物等小物の出品がなされ、屋外には展示会の花形である建設機